

オープンイノベーションによる研究の推進

企業などが保有する技術・シーズが、阪神高速グループが抱える課題・ニーズに対応するか、あるいは相互の技術融合により新たな価値が生まれるかを議論（コミュニケーション）したうえで、有意義な成果が期待される場合に共同研究を行うための「コミュニケーション型公募相談会」を春と秋の年2回実施しています。2021年からは試験施工のみの応募も受け付けています。

今後もニーズへの適用性の検討やニーズに応じたさらなる研究開発と実用化に向けた実装、試作、試験施工などに取り組んでいきます。当社グループが求める新たな技術はホームページでも公開しています。これまでにコミュニケーション型共同研究により新たに開発した技術には、浸透型床版防水工法技術や急速施工技術などがあり、特許を取得しているものもあります。



コミュニケーション型公募相談会の様子

阪神高速道路株式会社 企業情報サイトより

新技術の募集



事例紹介

Hydro-Jet RD 工法(床版撤去技術)

コミュニケーション型共同研究を活用して、供用下においてあらかじめ桁と床版の接合部のコンクリートをウォータージェット(以後、WJと表記)で取り除くことにより、通行止め工事期間

を短縮させることができる技術を開発しました。共同研究のなかでは、狭隘部に適用できるWJ装置、仮補強材などの開発を行いました。

「Hydro-Jet RD 工法」



WJによる接合部の除去



仮補強材の設置

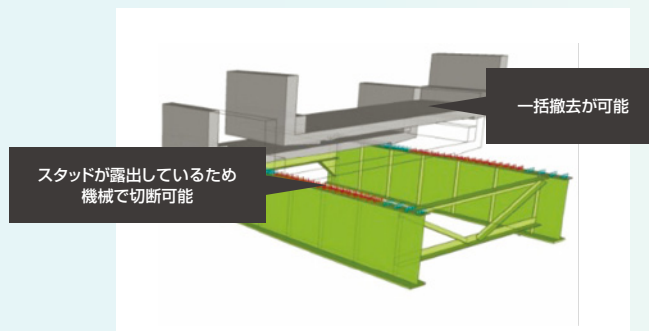


スタッドの切断



スタッドの露出状況

「Hydro-Jet RD 工法」適用時



スタッドが露出しているため機械で切断可能

一括撤去が可能